

# リレーインタビュー

大口町で活躍する社長さんをリレー形式でご紹介いただき、住民有志のおおぐち宣伝部が、大口町にある企業の素晴らしさと、社長さんの人柄をご紹介します企画です。



大切にしている事は「物事のすじと、相手の立場」

株式会社 日章

代表取締役社長 山田徹志さん

## Profile

昭和 35 年生まれ

趣味 車が趣味で、乗るのも見るのも好きです。スポーツカーが好きで、学生の時はモータースポーツをやっていました。休みの日は、1人で遠くまで行きます。

株式会社 日章 設立 昭和 55 年  
大口町伝右二丁目 100 番地 従業員数 37 名

## どんな仕事をしている会社ですか？

金型の設計、製作をおこなう会社です。車のアルミホイール、スチールホイール、タイヤ、ニューセラミック金型、ダイキャスト金型などの設計製造をおこなっています。

得意先の要望には、「わかりました。やりましょう」といえるように、また、少品種大量生産から、多品種少量生産への時代の変化に合わせて、車、建築以外の業界のニーズにもこたえられるように努力しています。



▲社名板の前で

## 社長ヒストリー & 苦勞したこと

岩倉で生まれ、2年前に大口町に家を建てました。

会社のルーツは鍛冶屋で、3代目が織機製造、4代目に父親が叔父とタイヤの設備機械製造をはじめ、後に父親が金型部門を独立させ、現在の会社になりました。金属加工でいうと、私で5代目になります。

「日章」という社名は、母親の戒名が由来です。

## 苦勞したこと

入社が26才の時で、当時はかなりの借金がありましたが、バブル期に差し掛かり、景気が良くなると、仕事が増えたことで、ある程度借金を返すことができました。バブル期が終わったところに世代交代をして社長になりました。

次第に景気が悪化し、今までのようにただ作るだけでは経営できなくなり、赤字の時代が続きましたが、他の会社が倒産や廃業するなか、「続けてなんぼ」と考え、社屋を移転し、規模縮小を図り、社会の変化に対応しながら続ける工夫ができる組織作りをしています。「生きてりゃ誰しもいろいろあるやんね！」物事素直に受け止めて苦勞と考えず、楽しみたいと思っています。

## 会社の自慢話

なにもすごくない所がすごいところ。特別に優れた技術があるわけではない、特別な技能を持った人がいるわけではないですが、依頼されたことを「できません」といわず、何とかすることを、とことんやってきたこと。存続できていることが、その結果だと思います。

## 会社のスター

一生懸命に頑張る社員を大事にしたいと思います！

## 社長さんからひとこと！

製造業がたくさんある大口町。3Kのイメージの払拭。ものづくり離れを何とかいい方向に向けたいですね！



## 取材後期

考え方が柔軟で、人当たりが良く、ユーモアのある魅力的な社長さんでした！



れいちゃん



ミヤちゃん